浦安キャンパス カリキュラム･アセスメント･チェックリスト

2026/9月改定

	名称	実施時期	実施頻度	対象	評価項目（対応目標含む）	評価手法	評価者	実施責任者	結果の活用方法
①	選抜機能評価	9月	年1回	1･2年生	各入学試験とその後のGPA/単位修得状況/留年･退学状況との関係	成績データの分析	入試追跡調査専門委員会委員長	入試追跡調査専門委員会委員長	入試区分ごとの傾向と対策を内部質保証推進委員会にて報告する。 同じ評価項目で比率が大きく異なる場合は、実施責任者が当該入試区分の見直し案を作成し、AC委員会を経て、内部質保証推進委員会へ報告を行う。
②	入学時基礎学力テスト	4月	年1回	1年生	各学科で行う基礎学力診断 日本語能力（留学生）	ペーパーテスト、面接等	各学科教員 MLACC センター長	各学科主任 MLACC センター長	①ｶﾘｷｭﾗﾑが前提としているスキルを修得していない学生が多くみられる入試区別に関しては、実施責任者が当該入試区分の在り方についてAC長と連携し、AC委員会を経て、内部質保証推進委員会へ報告する。 ②ｶﾘｷｭﾗﾑが前提としているスキルを修得していない学生については、多言語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｾﾝﾀｰと総合教育ｾﾝﾀｰが連携して情報共有を行う。
③	シラバスの 第三者チェック	2月	年1回	当該年度の全ての開講科目のシラバス	①ｶﾘｷｭﾗﾑﾚﾍﾞﾙ： DPと各科目の内容/順序/レベルの整合性 ②授業ﾚﾍﾞﾙ： 到達目標/授業手法/評価方法の整合性	評価者によるシラバス記載事項の点検	各学部長	教務部長	不適切な項目のある場合は実施責任者が、各科目担当者に修正依頼を行う。（修正結果の適切性も確認する。）
④	出欠状況調査	5月 8月 10月 2月	年4回	1･2年生	出欠状況	出欠データの分析	学生支援課（学生支援担当）	学生部長	出席状況が基準を下回る学生に対して問題解決に向けての対応を行う。
	学長によるヒアリング調査	7月 12月	年2回	学友会代表 学部学生代表	学生生活に対する課題等	学生・教職員合同会議（学長懇談会）	学生	学長	不都合が発見された場合は実施責任者が担当部署へ対策案を検討するよう要請し、結果をフィードバックする。
⑤	授業評価 アンケート	7月 1月	半期毎	全学年	カリキュラム・ポリシーにあった授業内容・方法が採用されているか、授業で興味が喚起されたか、など	アンケート調査	学生	FD・SD委員長	①教員は、アンケート対象科目及び集計値を確認し、アンケート集計結果分析、授業改善策及び学生向けコメントを作成する。 ②FD・SD委員は集計結果に基づき総評及び講評を作成し、FD・SD委員長は作成された総評を学内外に公表する。
⑥	ジェネリックスキル 「知識・理解」 「汎用的技能」 「態度・志向性」 「統合的な学習経験と創造的思考力」	1年生： 前学期 3年生： 後学期	年1回	1･3年生	ディプロマ・ポリシーから抽出されたジェネリックスキル	PROG	学生	総合教育センター長	①学生は、PROGの結果とｼﾞｪﾈ ﾘｯｸｽｷﾙの自己評価結果を合わせて参照し、目標と振り返りの記載を行う。 ②PROGテストの結果を学科ごとに集計し、各学科にフィードバックする。
⑦	専門性	9月 3月	半期毎	全学年	各専門科目の到達目標	成績評価 専門科目DP到達度	学生	教務部長	①学生は、教員による成績評価結果と自己評価結果を合わせて参照し、目標と振り返りの記載を行う。 ②教員は、学生の学修成果等ｱﾝｹｰﾄ結果、授業ｱﾝｹｰﾄ結果、当該科目の自身の成績評価結果を合わせて参照する。 ③各学部・学科において、学生の自己評価、授業ｱﾝｹｰﾄ結果、GPA分布及びDP到達度等を合わせて参照し、適宜改善案を作成し、内部質保証委員会へ報告する。
⑧	学修成果等 アンケート	11～1月	年1回	全学年	学生の学修時間、成長実感・満足度及び学修に対する意欲等	アンケート調査	学生	FD・SD委員長	①集計結果はIR推進本部にて分析し、その結果を内部質保証推進委員会へ報告を行う。 ②集計結果及び分析を各学科にフィードバックし、改善策等について内部質保証推進委員会へ報告を行う。
⑨	成績評価	9月 3月	半期毎	受講生がいる当該学期に終了する全ての科目	当該科目のシラバスに記載された評価項目	当該科目のシラバスに記載された評価手法	各科目担当教員	教務部長	①学生は、教員による成績評価結果と自己評価結果を合わせて参照し、目標と振り返りの記載を行う。 ②教員は、学生の学修成果等ｱﾝｹｰﾄ結果、授業ｱﾝｹｰﾄ結果、当該科目の自身の成績評価結果を合わせて参照する。 ③各学部・学科において、学生の自己評価、授業ｱﾝｹｰﾄ結果及びGPA分布を合わせて参照し、適宜改善案を作成し、内部質保証委員会へ報告する。
⑩	卒業時 学生アンケート	3月	年1回	当該年度の卒業生全員	①カリキュラム・学修支援体制（総合的な満足度など） ②学修成果に対する満足度	アンケート調査	調査対象の卒業生	FD・SD委員長	各指標を学科別に年度推移データとして比較を行い、継続的に向上が図れるようIR推進本部長が対策案を検討し、内部質保証推進委員会へ報告を行う。

	名称	実施時期	実施頻度	対象	評価項目（対応目標含む）	評価手法	評価者	実施責任者	結果の活用方法
⑪	卒業後調査（卒業生アンケート）	3月	年1回	卒業後3年に至る卒業生全員（留学生除く）	①ディプロ・マポリシー（就職後に必要とされたディプロマ・ポリシーに含まれる力、含まれない力） ②転職に関する情報	アンケート調査（Web、はがき郵送）	調査対象の卒業生	ｷｬﾘｱｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ長	ディプロマ・ポリシーで示した資質能力の内、就職してからあまり必要とされていない力やディプロマ・ポリシーに含まれていないが必要となる力がある場合には、実施責任者が対策案を検討し、ｷｬﾘｱｻﾎﾟｰﾄ運営委員会を経て、内部質保証推進委員会へ報告を行う。
⑫	進路先調査（企業アンケート）	3月	年1回	採用実績（過去2年間）及び求人サイト登録企業	①採用学生に対するディプロマ・ポリシーに基づく評価 ②ディプロマ・ポリシーで示した資質能力の適切性 ③採用時に重視する点	アンケート調査（Web、はがき郵送）	調査対象企業	ｷｬﾘｱｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ長	①進路先による評価と学内評価に乖離がある場合は、実施責任者が対策案を検討し、ｷｬﾘｱｻﾎﾟｰﾄ運営委員会を経て、内部質保証推進委員会へ報告を行う。 ②ディプロマ・ポリシーで示した資質能力と必要とされる力に乖離がある場合は、実施責任者が対策案を検討し、ｷｬﾘｱｻﾎﾟｰﾄ運営委員会を経て、内部質保証推進委員会へ報告を行う。 ③得られた情報をキャリア教育に活かす。
⑬	地元産業界インタビュー調査（浦安市企業アンケート）	3月	年1回	本社所在地が浦安市（求人、採用及び企業訪問実績企業）	①採用学生に対するディプロマ・ポリシーに基づく評価 ②ディプロマ・ポリシーで示した資質能力の適切性 ③採用時に重視する点	アンケート調査（Web、はがき郵送）	調査対象企業	ｷｬﾘｱｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ長	①進路先による評価と学内評価に乖離がある場合は、実施責任者が対策案を検討し、ｷｬﾘｱｻﾎﾟｰﾄ運営委員会を経て、内部質保証推進委員会へ報告を行う。 ②ディプロマ・ポリシーで示した資質能力と必要とされる力に乖離がある場合は、実施責任者が対策案を検討し、ｷｬﾘｱｻﾎﾟｰﾄ運営委員会を経て、内部質保証推進委員会へ報告を行う。 ③得られた情報をキャリア教育に活かす。
⑭	３つのポリシーの整合性点検	6月 12月 （3月）	半期毎	全学年	卒業率/進学率/留年率/退学率/国家試験合格率	教務システムから取得	学事課 学生支援課	IR推進本部長	各指標を学年学科別の半期ごと（一部学科では3月もあり）の推移データとして比較を行い、継続的に向上が図れるよう実施責任者が対策案を検討し、内部質保証推進委員会へ報告を行う。
		6月	年1回	前年度卒業生	就職率	就職支援データから取得	学生支援課（就職支援担当）		対象卒業生のデータ比較等を行い、継続的に向上が図れるよう実施責任者が対策案を検討し、内部質保証推進委員会へ報告を行う。